

今後の日程

- (9月)
- 3 全国女性運動部長会議 (大阪)
- 拡大全国狭山活動者会議 (東京)
- 9 県共闘第40回総会 (同和企業センター)
- 11 企業連第45回定期総会 (市民会館)
- 13 女性部・青年部合同学習会 (奈良)
- 14 ランチタイムデモ
- 16 全国生活福祉運動部長会議 (HRCビル)
- 第16回和歌山・人権啓発研究集会 実行委員会 (研究所)
- 17 青年対策部会議 (同和企業センター)
- 18 狭山ピラ統一行動
- 29 執行委員会 (同和企業センター)

各支部大会

1 那賀

市町村要請行動

18 海南

狭山学習会

14 新宮



歓迎あいさつする組坂委員長

◇分科会

分科会・テーマ	対象
1 交流&トーク	高校生
2 就職差別について考えよう	高校生
3 高校生と解放運動 (仮)	高校生
4 狭山再審闘争	高校生 青年
5 cafe しゃべり場 ~もっと知ろう 解放運動のこと 仲間のこと	高校生 青年
6 みんなでまちづくり ~つなげよう地元の輪~	青年

切り開いていく役割を、われわれが担っていくという大きな正義感と自覚をもつ

大きな正義感と自覚を

全高・全青活

「全国高校生・青年活動者会議」を8月1日・2日、福岡県部落解放センターでひらき、松井資喜・青年部長はじめ高校生2人、青年1人、事務局2人が参加した。

はじめに、中央本部を代表して、組坂中央執行委員長は「福岡は解放の父・松本治一郎先生が生まれて79年の生涯をまっとうされた町。さまざまなことを学びながら、部落解放運動を

当事者の声を制度に

中央福祉学校

部落解放第22回中央福祉学校が8月1日・2日、HRCビル(大阪市)でひらかれ、平見良太・生活福祉運動部長、部員、障がい者部会から6人が参加した。

はじめに、谷川雅彦・中央生活福祉運動部副部長から、昨年開催できなかったお詫びと国会で安保法制の審議がはじまったことをうけ、70年前の二度と過ちは繰り返さないという誓いを参加者と確認した。また、4月から施行された「生活困窮者自立支援法」につい

て全国高校生・青年活動者会議が有意義な会議となるよう期待するとあいさつした。つづいて、地元歓迎あいさつとして、吉岡正博・福岡県連書記長は「参加者が集会に参加してよかったと感じ、地元にもって運動をすすめてほしい」とあいさつした。

つぎに「働く者の権利に

ついて」と題して志水輝美・連合福岡ユニオンから講演があった。中央本部から第47回全国高校生集会・第59回全国青年集会についての開催要項(案)、集会スローガン(案)が提案された。最後に、高校生・青年が各会場にわかれて議論し、分科会の内容を確認した。

任意事業なため、実施状況は思わしくない。必須の相談事業についても、半数が委託、または社会福祉協議会に任せられ、社協との連携いや直接実施する場合は自治体との連携が重要になるとあいさつした。

北口末広・大阪府連委員長の地元あいさつのもと、学習①「障害者権利条約に基づくわが国の障害者差別解消法」と題して、山田昭義・社会福祉法人AJU自立の家専務理事から、首の骨を折って頸椎損傷で車イス生活になり、生活保護の医療扶助を受けながら戦後の貧しい暮らしを経験した自身の生い立ちや当時の障害者への待遇、当事者運動にとりくむようになった経緯などが語られた。「私たちのことを私たち抜きに決めるな」を合言葉に運動

を展開し、現在は愛知県小牧市の野口地区に知的障害者の作業場として「ななつぼし葡萄酒工房」と障害者が就職に向けたトレーニングをおこなう「ピア小牧」の複合施設としてワイナリーを設立し、世界の修道院ワインを販売していることなどが報告された。

2日目は、学習③「認知症の理解と支援のあり方」について、沖田裕子・NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター代表理事から、脳の神経障害によっておこる中核症状(記憶・認知・実行機能障害)とBPSD(周辺症状)といわれる行動や心理症状)の関わりやその人の生活背景や生活史から混乱した言動や行動の意味を理解し、心理的ニーズに則したケアについて、施設のようすを記録した映像をみながら学んだ。

保育集会の成功にむけて 全保活

2015年部落解放全国保育活動者会議を7月17日・18日、高知県人権啓発センターで13府県・103人が参加し、基調、分科会の要



あいさつする吉岡正博・教育文化運動部長

綱、各府県連のとりくみ、学習講演などをもった。安田茂樹・教育文化運動部副部長が第72回大会方針を確認し、4月からの「子ども子育て新制度」が施行され、保育現場や保護者の声、実践や課題などを集約し、基調提案を再考することを確認した。また、昨年のアンケートや実行委総括会議であがった意見をもとに、今集会から「人権保育入門」を新設し、解放保育・人権保育の運動の歴史に学ぶことが決定した。

各支部で大会ひらく

●芦原支部定期大会が7月21日、芦原文化会館でひらかれた。役員は次のとおり。支部長 岡本 峯雄

●笠田東支部女性部定期大会が7月21日、笠田東児童館でひらかれた。役員は次のとおり。役員は次

のとおりに。女性部長 辻岡 典子

●串本支部定期大会が7月27日、前地コミュニティセンターでひらかれた。役員は次のとおり。支部長 平野 義博

●岩橋支部定期大会が7月28日、岩橋文化会館でひらかれた。役員は次のとおり。支部長 福島 隆志

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただけます。取材に走りまわります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先) 〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連会内 解放新聞和歌山支局宛